

## 2025年ブロンテ・デイ公開講座プログラム

リーズ土産として木製の兵隊人形12体を父親のパトリック・ブロンテが子どもたちに与えた1826年6月5日からブロンテ文学が始まったとされています。この6月5日に近い6月の第1土曜日を日本ブロンテ協会は、本国イギリスの協会と歩調をあわせブロンテ・デイとし、専門家のみならず一般愛読者も集い、ブロンテ文学を愉しみ、味わうことにしています。本講座はその行事の一つであり、ブロンテ愛好者であれば十分愉しめる講座となっております。

日時： 2025年6月7日(土) 14時00分～16時10分

会場： 早稲田大学戸山キャンパス 38号館 AV教室1

受付： 13:40

司会： 日本大学教授 兼中 裕美

開会の辞： 14:00 大東文化大学名誉教授 栗栖 美知子

講演Ⅰ： 14:05～15:00

演題：シャーロット・ブロンテの初期作品をめぐって

大阪成蹊大学准教授 片山 美穂

シャーロット・ブロンテは幼い頃から創作活動に熱中した。それは青年期まで続き、数多くの作品が書かれているが、この初期作品がどのように本格的な作家としての創作活動へと繋がっているかについて見てみたい。

休憩： 10分

講演Ⅱ： 15:10～16:05

演題：バルテュスの挿絵で読む『嵐が丘』

フェリス女学院大学名誉教授 久守 和子

バルテュスのペンと黒インクによる『嵐が丘』の挿絵 14 枚は、主に若いヒースクリフと第一世代のキャサリンを描く。しかも二人の身体の一辺をもっぱら斜線で直線的に描く。バルテュスの作品解釈の斬新さを考える

閉会の辞： 16：05

青山学院大学名誉教授 橋本 清一

■受講対象者： 協会員、ブロンテ文学に興味のある方、一般の方、学生

■受講料： 無料

■申込（参加登録）方法： 日本ブロンテ協会ホームページ（<http://brontesociety.jp/>）内にリンクのあるオンラインフォームで、4月30日（水）から5月30日（金）までに参加をお申し込みください。（期日は厳守）

■主催： 日本ブロンテ協会

社会状況により開催形態を急遽変更する場合があります。最新情報を協会ホームページにてご確認ください。

皆様お誘いあわせの上奮ってご参加ください。